

## 産業社会と人間

### ～「地域から学ぼう」観光・防災・福祉講演会～ 7月7日(金)

7月7日(金)、一学年必修科目「産業社会と人間」の時間に、「地域から学ぼう」をテーマで講演会を行った。新宮市という地域の特色を踏まえて「観光」「防災」「福祉」の3分野について学習した。

「観光について」は、本校卒業生で、ふくもとデザイン事務所社長の福本 友樹さんによる講演会を行った。福本さんは新宮市という地域の魅力を日本全国に伝えるために、新宮市の魅力を最大限に活かしたP V (プロモーションビデオ) を作成されている。新宮市の魅力を伝えることを通して、新宮出身の方にとって「帰る場所」である新宮市の豊かさ、暖かさを伝えたいと熱く語った。



「防災について」は、本校防災委員長の辻 強志先生から、日本、そして新宮という地域の特性上、新宮という地域が地震、津波といった大きな災害で被害を受けること、自身の種類によって地表にあらわれる影響の大きさの違いなどについて、熊本の地震、東日本大震災、阪神淡路大震災などの実際の映像を紹介しながら詳しい説明があった。日本全国どこにいても、地震が起こる可能性があり、地震等防災に対する心構え、訓練の大切さ等について触れ、例年実施している防災避難訓練について真剣に取り組むよう指導があった。



例年実施している防災避難訓練について

「福祉について」は、新宮市社会福祉協議会の大江 真季さんによる講演会を行った。大江さんは新宮市(熊野川町)を中心に地域福祉事業を推進され、地域の方々の生活を支える仕事をされている。熊野川町が非常に高齢化の進んだ地域であることから、特に高齢者の方々を対象にした地域福祉を実践されている。最初は地域の方に顔を覚えてもらえていなかったけども、事業を続けるうちに「社会福祉協議会の人やね」と言ってもらえるようになったとのエピソードや、実際の写真などを使いながら地域福祉の現状と課題について教えていただいた。

